

DPCデータ分析演習



横浜市立大学
データサイエンス研究科
ヘルスデータサイエンス専攻
清水沙友里

Q. PCが固まってしまいます

データの前処理(必要なデータに絞る、分割)、数式の最適化(ループ処理をしない)、データのリンク(外部データベースやCSVファイルからデータを直接読み込むことで、Excelシートにすべてをロードする必要を減らす)、マクロとVBA: 繰り返し行う作業は、マクロやVBA(Visual Basic for Applications)を使用して自動化してもよい。動作が重くなりやすい関数は以下のようになるものがあります。

参照関数: VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX、MATCH、OFFSETなど。大量のセルにわたって使用されると、計算に時間がかかる。
条件付き集計関数: SUMIFS、COUNTIFS、AVERAGEIFSなどは、多くの条件や大量のデータが関与する場合には、計算に時間がかかる。
再帰的な参照関数: 関数が他のセルを参照し、そのセルがさらに別の関数によって計算される場面では、計算量が急速に増加する可能性がある。
自作関数(VBA): VBAで作成されたユーザー定義関数も、処理が複雑であると時間がかかる。
外部データ参照: 外部データベースやWebサービスへのクエリを含む関数は、データベースのパフォーマンスに依存するため、遅くなる可能性がある。
関数のネスト: 複数の関数をネスト(入れ子に)して使用すると、計算の複雑性が増し、パフォーマンスに影響を与える。
パフォーマンスの問題を軽減するためには、計算の範囲を限定する、不要な計算を削除する、Excelの計算オプションを手動に設定する(自動計算をオフにする)などの方法があります。

データ分析の前に…、よくある質問

Q. データをグラフ化するときのポイント①

データをグラフ化するときには、何を伝えたいのか、また誰に伝えたいのかというコンテキストが非常に重要です。

明確な目的:
グラフには明確な目的が必要です。何を伝えたいのかを考え、それに最も適したグラフの種類を選びます。

シンプルさ:
複雑なグラフは混乱を招きます。必要な情報だけを表示し、無駄を排除します。

色の使用:
色は強力な視覚的要素ですが、多用すると逆効果になる場合もあります。基本的には2~3色に抑え、強調したい点に色を使います。

ラベルと凡例:
グラフの各要素が何を意味するのかを明確にするために、適切なラベルと凡例を使用します。

スケールと軸:
スケールが不適切だと、データの解釈が誤りやすくなります。0から始まる軸や、等間隔のスケールを使用すると良いでしょう。

Q. データをグラフ化する場合のポイント②

データをグラフ化する場合には、何を伝えたいのか、また誰に伝えたいのかというコンテキストが非常に重要

棒グラフ（垂直または水平）:

用途: カテゴリー別に数値を比較する。月別売上、部門別利益など。

折れ線グラフ:

用途: 時間に沿ったデータのトレンドを表示する。株価の時間経過による変動、年度ごとの売上推移など。

円グラフ:

用途: 全体に対する各部分の割合を示す。分類が多すぎると読みにくくなる。通常は5～6個以下のカテゴリで使用する。

ヒストグラム:

用途: 一変数のデータセットの頻度分布を表示する。データをビン(範囲)に分け、各ビンに含まれるデータ点の数を棒グラフで表示

散布図:

用途: 二つの数値の関係性を探る。x軸とy軸にそれぞれ異なる変数を取り、各データ点をプロットします。

例: 年齢と収入、気温と売上など

箱ひげ図:

用途: データの四分位数と外れ値を視覚化する。

特長: 中央値、第一四分位数、第三四分位数などを一つのグラフで表示し、データのばらつきを理解しやすくします。

55

Q. 知っていると便利な関数（Excel 365以降）

ダイナミック配列関数はExcel 365以降で使用できる新しいカテゴリの関数で、一つのセルに式を入力するだけで、複数の出力値を隣接するセルに自動的に「スピルオーバー」させることができます。

FILTER関数: 条件に合った行や列を抽出

例えば、A1:C10の範囲に「ID」「名前」「年齢」という列がある場合、年齢が20歳以上の人物だけを抽出したいとします。この場合、以下のようなFILTER関数を使用します。 =FILTER(A1:C10, C1:C10 >= 20)

SORT関数: データをソート。年齢でソートする場合、以下のようにします。

=SORT(A1:C10, 3, 1) この式は、A1:C10の範囲を3列目(年齢)に基づいて昇順(1)でソートします。

UNIQUE関数: 重複を削除・名前列から重複を削除する場合、以下のようにします。

=UNIQUE(B1:B10)

SEQUENCE関数: 連続した数値を生成。1から10までの数値を生成する場合、以下のようにします。

=SEQUENCE(10)

関数を組み合わせる: SORT + FILTER 年齢が20以上の人物を年齢でソートする場合、以下のように関数を組み合わせます。

=SORT(FILTER(A1:C10, C1:C10 >= 20), 3, 1)

7

Q. 知っていると便利なexcel関数は？

VLOOKUP / HLOOKUP: 一方のシートへのデータをもとに、別のシートのデータを検索します。変数のコード化によく使います
=VLOOKUP(A1, \$D\$1:\$E\$2, 2, FALSE)
D1:E2の範囲に変換テーブルがあり、A1の値(1または2)に基づいて"女"または"男"を返します。

XLOOKUP: 一つの列(または行)から特定の値を検索し、対応する値を別の列(または行)から返します

INDEX / MATCH: VLOOKUPよりも柔軟な検索が可能です。

SUMIF / COUNTIF: 特定の条件に一致するデータを集計します。

SUMPRODUCT: 複数の配列の要素同士を掛け合わせた後、その総和を計算します。これは、条件付きの集計にも使えます。

CONCATENATE / &: 文字列を結合します。

LEFT / RIGHT / MID: 文字列から特定の文字を抽出します。

IF / IFERROR: 条件に基づいて異なる計算を行い、エラーが発生した場合にはデフォルト値を返します。

=IF(A1=1, "女", IF(A1=2, "男", "不明"))

セルA1が1であれば"女"、2であれば"男"、それ以外であれば"不明"と表示されます。

AND / OR: 複数の条件を組み合わせて評価します。

LEN: 文字列の長さを返します。

TRIM: 文字列から余分なスペースを取り除きます。

6

Q. データ量が少ない時に注意すべきことは？

■ まずは自院の課題が何であるか、分析を目的を明確に持つことが重要です。やみくもにデータを分析しても得られるものが少なくなってしまう。分析を行った結果、どのような行動変容に繋げられるかということを考えて分析します。

■ 記述統計(人数、平均、中央値など)を経時的に追っていくことで比較可能になります

■ データを可視化することで、データの傾向や問題点を直感的に把握することができます。

■ 小サンプルの場合、外れ値があると解釈に影響を与える可能性が高くなります。外れ値が発生した要因を検討しましょう

■ 別のグループや時間帯と比較することで、見落としていた傾向やパターンを発見することがあります。

■ トメイン知識を活かして、数値で分析結果を話し合うと新たな視点が生まれます

8

Q. 分析でよく使われる指標は？

病院の理念がなにより大切。

医療の質

- QI 国立病院機構を参考に
- 患者満足度調査、ケアの質を評価します

患者の状態

- 年齢構成、疾病構造、重症度（介護度）、

業務指標（KPI）

- LOS、病床利用率、紹介・逆紹介率、新患者と再来

総合と市場分析

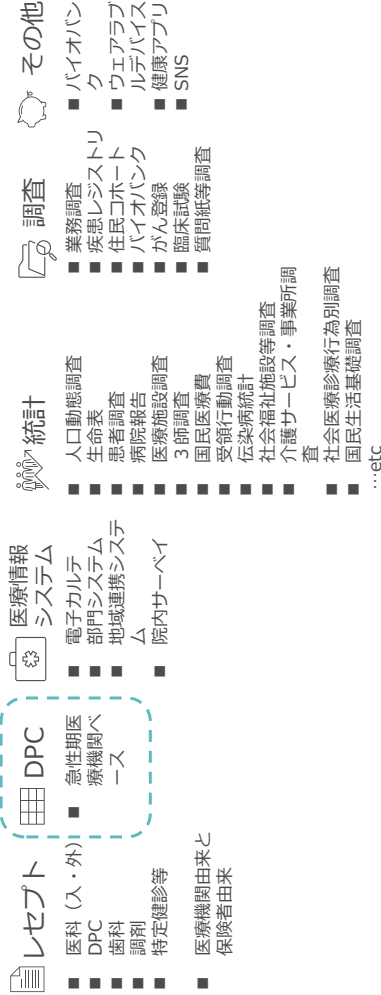
- 対象領域における市場占有率
- 患者の地域分布 地域別に患者数を分析し、マーケティング戦略を考えます。
- 総合病院の動向（公開データの活用）

職員のパフォーマンスと満足度

- 離職率：高い離職率は職員の不満や疲労、効率の低下を示す可能性があります。
- 職員満足度調査：モチベーションや職場環境に問題がないかを定期的に確認します。

DPCデータを分析しよう！

医療系のさまざまなデータ



研究法に係わらず、実臨床のデータから強く実践を志向した研究(real-world evidence)

DPCデータとは

- 様式1は退院時サマリーのイメージ。性別、年齢、身長、体重、病名、入院目的や入院経路、手術術式、重症度などを含む。患者がどのような状態で入院し、主にどのような手術を受け、何日間入院して、どのような状態で退院していったか、概略が把握できる
- EFファイルは診療報酬明細書情報。医科点数表に基づく出来高による診療報酬の算定分を範囲とする。手術、検査、処方等の診療区分のほか、実施年月日や行為回数、診療明細名称や薬剤の使用数量・基準単位などの情報が収載されている。1とどのような診療行為を「1つ」と「1つ」だけ実施したかが詳しく分かるため、診療プロセスを時系列で把握できる
- Hファイルは重症度、看護必要度に係る調査票を書く評価項目の点数。様式1と異なり、1日ごとに情報を入力する。産科等の患者についても作成する必要がある

ファイル名	内容
様式1	退院時サマリー情報（サマリーサマリーのような情報）
EF 様式1	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式2	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式3	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式4	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式5	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式6	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式7	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式8	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式9	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式10	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式11	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式12	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式13	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式14	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式15	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式16	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式17	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式18	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式19	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式20	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式21	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式22	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式23	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式24	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式25	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式26	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式27	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式28	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式29	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式30	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式31	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式32	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式33	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式34	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式35	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式36	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式37	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式38	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式39	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式40	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式41	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式42	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式43	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式44	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式45	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式46	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式47	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式48	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式49	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式50	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式51	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式52	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式53	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式54	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式55	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式56	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式57	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式58	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式59	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式60	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式61	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式62	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式63	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式64	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式65	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式66	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式67	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式68	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式69	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式70	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式71	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式72	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式73	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式74	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式75	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式76	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式77	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式78	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式79	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式80	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式81	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式82	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式83	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式84	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式85	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式86	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式87	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式88	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式89	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式90	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式91	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式92	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式93	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式94	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式95	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式96	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式97	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式98	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式99	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）
EF 様式100	診療報酬明細書情報（診療報酬、手術、検査、処方の算定など）

DPCデータで医療の質を評価する

アウトカム分析

- 診療の成果を分析して医療の質を評価する方法
- 手術成功率、合併症発生率、死亡率など直接的な結果を評価する指標なので、医療の質の良し悪しが分かりやすく判断しやすいが、公平な評価が難しい指標
- 診療行為の明細情報が入ったEFファイルなどの診療データを用いて、診療の内容をより細かく比較する診療プロセス分析を行うことができる

プロセス分析

- 診療内容の詳細を分析して医療の質を評価する方法
- ガイドラインの遵守率などを評価
- 特にアウトカムと密接に関連するようなプロセス評価が重視されている

ストラクチャー分析

- 設備や人員体制の視点が主。診療報酬上の施設基準、法令に規定される人員、委員会等の整備等を評価する
- 医療機能の特性や目指している医療に合致する医療提供体制かどうか

13

DPCデータを活用して臨床指標を分析する

■ 75歳以上退院患者の入院中の予期せぬ骨折発症率

分子

分母のうち、当該入院の入院日から数えて2日目以降退院日までに骨折を発症した患者数

分母

75歳以上の退院患者数



DPCデータを活用して臨床指標を分析する

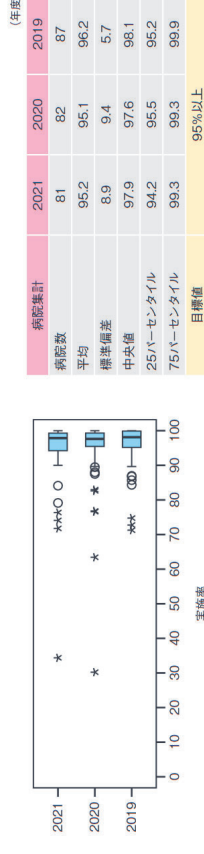
手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率を分析する（リスクレベルが高いリスク）

分子

分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）を実施した患者数

分母

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「高」の手術を施行した退院患者数



14

第3版が発売されました！

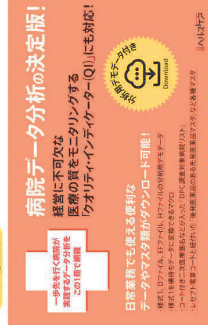
第3版では2022年度診療報酬改定の内容に対応するとともに、今後ますます重要となるオリエイ・インディケター（QI）の章を新たに追加し、さらにパワーアップしました。

★本書のポイント★

- ◎DPCデータの基礎知識からExcelを使ったデータ分析手法まで徹底指南
- ◎厚生労働省のオープンデータを用いた医療圏分析を解説
- ◎様式1やEFファイルなどのデモデータを用いて実際に手を動かしながら自院の診療機能や医療圏を分析できる
- ◎コード付き二次医療圏名などが入った「DPC調査対象病院リスト」など日常業務でも使える各種マスタがダウンロード可能
- ◎2022年度診療報酬改定の内容に対応。さらに医療の質を評価する「フオリエイ・インディケター（QI）」の章を追加



すべてExcelでできる！
経営力・診療力を高める
DPCデータ活用術
第3版



15

DPCデモデータの前処理(済)

- | | |
|---|---|
| ■ | 様式1とEFファイル、Dファイルを連結した分析を行うため、1入院1患者となるような入院毎にユニークとなる分析用IDを作成します。様式1、EFファイル、Dファイルに分析用IDの列を追加します |
| ■ | <ul style="list-style-type: none"> 様式1、EFファイル、Dファイル全てで同じ作業を実施 |
| ■ | DPCコード別の分析を行うため、DファイルからDPCコードを追加 |
| ■ | <ul style="list-style-type: none"> 分析用IDを用いて、DファイルにあるDPCコードの情報を様式1に追加 DPC14桁から頭2桁 |
| ■ | DPC6桁を追加 |
| ■ | <ul style="list-style-type: none"> DPC14桁のうち6桁が“DPC6” |
| ■ | DPCコードから定義OPE(手術の有無)を追加 |
| ■ | 誕生年月日から年齢を計算 |
| ■ | “65歳以上高齢者”列を作成し、0と1でカテゴリー化 |
| ■ | 在院日数を計算 |
| ■ | 様式1の開始日～終了日までの情報 |

[illegible]

EFファイルを使った分析

Q6 院内で急性心筋梗塞の診療ガイドラインがどれだけ遵守されているのか確認したいと考えています。何かいい方法はありませんか？

A6 基本的な対応策として、診療ガイドラインで推奨されている薬剤投与の施行率を調べてみるのは1つの手です。薬剤の投与実績を調べて、診療の適正化や質の改善につなげましょう

操作概要

ここでは、一例として、日本循環器学会がまとめた「ST 上昇型急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン（2013 年改訂版）」で推奨されている HMG-CoA 還元酵素阻害薬（スタチン）の投与の施行を管理・調べてみることにします。付録 CD-ROM に収録した「スタチンマスター」という Excel ファイルを活用して、まずは、「EF ファイル」で、スタチンが処方されているケースを設定します。その情報（「様式 1」）のデータをリンクさせて、急性心筋梗塞患者への投与実態について集計します。

- ① スタチンマスタを使って、EFファイルでスタチンが投与されている患者を特定する
- ② スタチンが投与された患者の分析用IDのリストを作成する
- ③ ②のリストを使って、同じ分析用IDの患者に1のフラグをたてる
- ④ ピポット機能を使って、急性心筋梗塞でスタチンが投与された患者の数を集計する

実施説明資料をデータと照らし合わせて確認する

- 最初に見るのは変数定義のページ
- “入力要綱を参照”は詳細解説を別途見る
- 入力必須項目や条件指定を確認
- この資料は病院向け資料のため、実際に分析に使うデータが全てこの項目の通りに入力されているとは限らないことに注意

[illegible]

4-00000 入塾料簿

① 入塾年月日

② 入塾経路

手帳式で前年からの入塾年月日と同じ書き方をする。

入塾したる経路について、必ず書き添える欄とします。

卒業式で前年からの入塾であった場合は、前年から1学年の進級等から進級年と入力する。

番	記号	意味
1	入学試験	入学試験
2	入学試験	入学試験
3	入学試験	入学試験
4	入学試験	入学試験
5	入学試験	入学試験
6	入学試験	入学試験
7	入学試験	入学試験
8	入学試験	入学試験
9	入学試験	入学試験

2021年4月1日時点 2020年10月1日現在人口推計																																	

EFファイルを使った分析

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000
業務用CD/DVDコード			00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

- 診療ガイドラインが遵守されているか、あるいはどれくらい逸脱した例があるかを検証する作業は、診療の適正化を図る上で、非常に重要な道筋と言える。心筋梗塞の再発防止に脂質管理を行うことで、高いエビデンスがあり、日本循環器学会から、第1次IST上昇急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン(2013 年改訂版)では、「緊急な場合には発症後早期からLDLコレステロール値にかかわらずHMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン)を開始する」ことが推奨されている。
- 今回の例では、主働病名が急性心筋梗塞の患者に対するスタチン投与の施行率をまとめることとためたが、スタチンが投与されなかった患者について院内調査を行い、非投与となった理由について調べ、以後、同様のケースで改善策が図れるかなどもぜひ検討したい。
- ただし、EF ファイルには、持参薬名、診療報酬の請求に関連のないデータは入力されていない点に注意が必要。

分析時に参照する参考資料の例

